

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

①市町村名	五所川原市
②人口	59,262人（平成25年4月30日現在）
③高齢化率	（平成25年4月30日現在）（28.3%） （65歳以上）16,787人 （75歳以上）9,094人
④取組の概要	行政・医療・介護等の関係機関及び地域住民等が連携して地域で認知症の方を見守る。
⑤取組の特徴	五所川原市災害時要援護者登録申請兼個別計画書（SOSネットワーク）の提出により、五所川原市介護福祉課が徘徊高齢者等の情報を管理し、現に徘徊高齢者が発生した時は発見依頼をもって、ネットワークシステムに基づき速やかに関係機関等に情報提供を行い高齢者等の保護に努める。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成24年度に関係者を集めた会議を行い、警察内で構築されていたネットワークに行政・包括支援センター・在宅介護支援センター・福祉関係者・地域住民が共同で実施できるようにネットワークを広げた。
⑧主な利用者と人数	48人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	（取組の実施主体）五所川原市介護福祉課 （関連する団体・組織）五所川原市地域包括支援センター・在宅介護支援センター（協力機関）市内高齢者福祉施設、発見協力事業所等
⑩市区町村の関与	市介護福祉課が主担です。（財政的支援はありません）
⑪国・都道府県の関与	なし
⑫取組の課題	福祉関係者・地域の関係機関から連絡方法にばらつきがあり検討中
⑬今後の取組予定	検討中
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	五所川原市介護福祉課（0173-38-3939）